

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生市立福生第七小学校
令和7年度 学校だより

福生第七小学校
ホームページ
URL



<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>

所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 菅野 恭子

令和7年4月30日 発行

挨拶は 心を込めて 自分から

校長 菅野 恭子

爽やかな風とともに、新緑の美しい季節となりました。七小の校庭や学校周辺の花壇には、季節の花々が色鮮やかに咲いています。子どもたちも天気の良い日には、外で観察をしたり、体をたくさん動かして運動したり、休み時間には気持ち良さそうに遊んでいます。

新年度が始まり、早一か月が経ちました。子どもたちも新しい学級・学年に少しずつ慣れ、新たな目標をもって過ごしています。教職員からも日々、子どもたちの頑張りや成長の報告があります。

今年度最初の全校朝会では、「この1年間で頑張ってもらいたいこと」として①「よく考えて、自分から勉強をすること」、②「相手のことを考えて、優しくすること」、③「体を鍛え、がんばり抜くこと」の3点を話しました。学校生活では、自分と異なる考え方や異なる歩調で進む仲間たちとともに多くの経験をします。そのような中で、どのようにすればより良く過ごせるか、目標を達成できるかを考え、様々なかかわり方を試行錯誤しながら自分なりの方法を見付けていくことも大きな学びとなります。そのためにも、相手意識をもってかかわることの大切さを話しました。1年生から6年生までが真剣な表情で傾きながら話を聞く様子に頼もしさを感じました。

4月23日の全校朝会では、挨拶運動が始まる機会に合わせて「挨拶は 心を込めて 自分から」という話をしました。挨拶の「挨拶」には、「心を開く」という意味や「挨拶」には「相手に近づく」という意味があることに触れ、心を開いて相手に歩み寄るという意味があることを話しました。また、挨拶には「おはようございます」「ありがとうございます」など、一言一言は短いけれどたくさんの気持ちが込められていることも話しました。例として、私が毎朝正門で子どもたちを迎える際、「おはよう」の一言に「元気に登校できたね」「朝ごはんは食べてきたかな」「授業では〇〇〇を頑張っていたね」「今日も一日、頑張ろうね」等の意味を込めて挨拶をしていることを話しました。「相手のことを思って声を掛ける挨拶は、②相手のことを考えて、優しくすることにつながる」ということ、だからこそ挨拶をするときの声色も、心を込めると変わってくることを、そして自分から挨拶できると相手にも気持ちが届くことなどを「挨拶は 心を込めて 自分から」という合言葉とともに話しました。



自分から挨拶できる子が多いなと感じていましたが、この話の後には、気持ちの良い声での挨拶、気持ちが伝わる笑顔の挨拶、遠くで私を見つけたときは、立ち止まって会釈する挨拶等、それぞれの気持ちが伝わる挨拶が増えました。

小さなことですが、子どもたちの気付きから学びにつながるような話をしていきたいと思います。

最後に、4月の保護者会には、多くの皆様にお越しいただき、学校経営方針をはじめ、各学年の取組みや発達段階ごとの特徴などの話を共有することができました。ありがとうございました。

今後も、学級・学年担任等、子どもたちの様子が分かる会を開催していきますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

年6回ある挨拶運動の第1回目(3.5年生)

本校では、2学年ずつペアとなり、全学年が挨拶運動を行っています。